

~ 謝辭 ~

謝辞

本研究を遂行するにあたり，中村由行領域長((独)港湾空港技術研究所 海洋・水工部 沿岸環境領域)には，研究の重要性と方向性を示唆いただき，さらにデータの評価および論文の推敲，必要物品の調達方法など懇切丁寧に御指導いただきました．ここに謝意と敬意を表します．

さらに益永茂樹教授(横浜国立大学大学院環境情報研究院)には，短期修了希望を快諾していただき，研究内容の精査から指導，博士課程後期修了に必要な論文の査読など多大なる御指導をいただきました．また審査会の準備などお忙しいところ大変お手数をおかけいたしました．ここに謝意を表します．

また社会人ドクターコース進学への理解と支援をしていただいた東洋建設(株)に感謝いたします．

3章にある鉛直1次元モデルを完成するにあたり，金井豊氏(産業技術総合研究所・海洋資源環境研究部門)には，宍道湖・中海における放射性核種の観測データを提供していただきました．また岡田知也主任研究官(国土交通省国土技術政策総合研究所・沿岸海洋研究部・海洋環境研究室)には，モデル作成の当初の段階で研究の方向性を御教示いただきました．ここに謝意を表します．

4章にある吸着実験を実施するにあたり，小沼晋氏((独)港湾空港技術研究所 海洋・水工部 沿岸環境領域)には，微量化学物質実験のイロハをマンツーマンで御指導いただきました．また加賀山亨氏(横浜国立大学大学院環境情報学府博士課程前期修了(現・月島機械株式会社))には実験の前処理を担当していただき大変御尽力いただきました．また迫田章義教授(東京大学生産技術研究所)には，堆積物の一部の物性について測定の御協力をいただきました．ここに謝意を表します．

5章にある現地調査を実施するにあたり，中川康之主席研究官((独)港湾空港技術研究所 海洋・水工部 沿岸環境領域)には，調査の段取りや現地での管理など御指導・御助力いただきました．また石渡恭之氏(横浜国立大学大学院環境情報学府博士課程前期2年)には，サンプリングや分析の補助をしていただきました．ここに謝意を表します．

付録4にあるアマモの取込実験では，坂元信裕氏(横浜市立大学大学院国際総合科学部内分泌学研究室博士課程前期修了(現・NTT データフォース株式会社))には，実験の実施および洗い物等の補助をしていただきました．ここに謝意を表します．

また(独)港湾空港技術研究所 海洋・水工部 沿岸環境領域の井上徹教主席研究官や三好英一特任研究官をはじめとする皆様には，実験方法の相談から日常のサポートまで面倒を見ていただきました．ここに感謝いたします．

なお，本研究は平成16,17年度国交省港湾測量試験費(共通)および横国大環境情報研究院共同研究プロジェクトの援助により行ないました．併せて謝意を表します．

最後に，健康管理をしてくれた妻と元気を与えてくれた息子に感謝いたします．

以上